

科目名	担当教員	学期	単位
データの見方	西郷 浩	前期	2

講義概要

記述統計学の基礎と基本的な社会統計について講義する。記述統計学とは、データの特徴を要約する方法を提供する分野である。どのような統計分析をおこなうときでも、記述統計学の知識は前提とされる。これまでに統計学を学習したことがない学生で、修士論文で実証的な分析を予定している者は、早い段階で記述統計学を学習しておくことが望ましい。

なお、推測統計学の基礎をあつかう「統計学」では記述統計学の知識を前提とする。初めて統計学を学ぶ場合は、「統計学特論A」のつぎに「統計学」を履修するように計画してほしい。

シラバス

- [第1回] 統計データの種類
- [第2回] 度数分布とヒストグラム
- [第3回] 中心の尺度・バラツキの尺度
- [第4回] 不均等度の尺度
- [第5回] クロス集計(1)
- [第6回] クロス集計(2)
- [第7回] 散布図と相関
- [第8回] 回帰分析(1)
- [第9回] 回帰分析(2)
- [第10回] 物価指数
- [第11回] 家計消費統計
- [第12回] 人口統計
- [第13回] 就業統計
- [第14回] SNA統計
- [第15回] 景気指標

教科書

プリントを配布する。

参考文献

ハンス・ザイゼル（佐藤郁哉 訳）『数字で語る』新曜社 2005年
 廣松毅・高木新太郎・佐藤朋彦・木村正一『経済統計』新正社 2006年

評価方法

課題提出ないし試験による。

関連URL

<http://www.f.waseda.jp/saigo>

備考

政治学研究科「データの見方」と合同講義